

# スタートアップガイド

## ⚠ 使用上のご注意

本書はTC-Station <ハイエンドモデル>を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。本書は、必要なときに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。本装置をご使用になる前に本書を必ずお読みください。

## 安全に関わる表示について

本装置を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って取り扱ってください。本書には本装置のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。本書では、危険の程度を表す言葉として、**[警告]**と**[注意]**という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	<b>警告</b>	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
	<b>注意</b>	火傷や怪我などを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例: 感電注意
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例: 分解禁止
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例: プラグを抜く

## 本書およびラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起			
	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	高温による障害を負うおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
行為の禁止			
	特定しない一般的な禁止を示します。		装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
行為の強制			
	装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。

## 安全上のご注意

### 全般的な注意事項

### ⚠ 警告

**人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない**

本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されていません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。

**煙や異臭、異音が生じたまま使用しない**

万一、煙や異臭、異音などが生じた場合は、ただちに本装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

**針金や金属片を差し込まない**

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

### ⚠ 注意

**海外で使用しない**

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。本装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。

**本装置内に水や異物を入れない**

本装置内に水をなどの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因になります。もし入ってしまったときは、すぐ電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

### 電源、電源コードに関する注意事項

### ⚠ 警告

**ぬれた手で電源プラグを持たない**

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

**アースリード線をガス管につながらない**

アースリード線は絶対にガス管につながらないでください。ガス爆発の原因となります。

### ⚠ 注意

**指定以外のコンセントに差し込まない**

電源はAC100Vの壁付きコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や感電の原因となります。また、延長コードが必要なような場所には放置しないでください。本装置の電源仕様と合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。

**たこ足配線にしない**

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。

**ケーブル部分を持って引き抜かない**

ケーブル部分を抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っぱりコネクタ部分に無理な力を与えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

**中途半端に差し込まない**

電源プラグは根本までしっかりと押し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のために発熱し、火災の原因となることがあります。また押し込み部にほりかたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

**指定以外の電源コード・ACアダプタを使わない**

本装置に添付されている電源コード・ACアダプタ以外のものを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。また、電源コードの破損による感電や火災を防ぐために次のような行為を行わないでください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードにものを載せない。
- 電源コードを束ねない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 電源コードをステーブラ等で固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)


**添付の電源コード・ACアダプタを他の装置や用途に使用しない**

添付の電源コード・ACアダプタは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

**電源コードのアースリード線について**

故障・漏電時の感電防止のため、必ず接地（アース接続）してください。なお、アース接続は必ず、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

## 設置・移動・保管・接続に関する注意事項

 **注意**

**指定以外の場所に設置しない**

本装置を次に示すような場所には設置しないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 暖房器具の近くなど高温になる場所。
- 不安定な場所。
- 調理場など、湯煙や湯気の当たる場所。

**電源コードを接続したままインターフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない**

インターフェースケーブルの取り付け／取り外しは、本装置の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。たとえ電源をオフにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

**指定以外のインターフェースケーブルを使用しない**

インターフェースケーブルは、当社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のものを使用したり接続先を誤ったりすると、ショートにより火災をおこすことがあります。また、インターフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

**腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない**

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないで下さい。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないで下さい。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

## 製品の譲渡と廃棄について

- 第三者への譲渡について  
本装置を第三者に譲渡（または売却）するときは、本書ならびに添付の部品や説明書などのドキュメントについてもいっしょにお渡しください。
- 本装置の廃棄について  
本装置の廃棄については、各地地方自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自自治体にお問合せください。なお、装置添付の電源コード、ACアダプタにつきましても、他装置への転用を防ぐため、本体と一緒に廃棄してください。

### 情報サービスについて

- <http://nec8.com>

Express5800 シリーズに関するさまざまな情報が盛りだくさんのホームページです。是非お立ち寄りください。

- <http://club.express.nec.co.jp>

Express5800 シリーズをご利用のお客様を対象にさまざまな特典やサービスを提供する ClubExpress のホームページです。

### お客様登録や、登録の変更も出来ます。

- **ファーストコンタクトセンター**

TEL 03-3455-5800（代表）


受付時間 / 9:00~12:00、13:00~17:00

月曜日～金曜日（祝祭日を除く）

- **その他**


本装置を正しく安全に取り扱うための説明や注意事項は、CD-ROM 内にオンラインマニュアルとして PDF ファイルにて収録されております。


## お手入れ・取り扱いに関する注意事項

 **注意**

**自分で分解・修理・改造はしない**

ご自分で分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。故障の原因となります。

 **注意**




本体は絶対に分解しないで下さい。  
故障の原因となります。

本体側面に表示した事項

**プラグを差し込んだまま取り扱わない**

お手入れは、本装置の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

## 運用中の注意事項

 **注意**

**雷が鳴ったら触らない**

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴り出したら、ケーブル類も含めて本装置には触れないで下さい。火災や感電の原因となります。

**ペットを近づけない**

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本装置内部に入って火災や感電の原因となります。

**近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない**

本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源を切ってください。電波による誤作動の原因となります。

# スタートアップガイド

## 添付品を確認する

梱包箱を開け、添付品が揃っていることを確認してください。

・ TC-Station本体

・ スタンド

・ スタンド固定ねじ

・ オンラインマニュアル (CD-ROM)

・ スタートアップガイド (本書)

・ キーボード

・ マウス

・ 電源ケーブル

・ ACアダプタ

・ エンドユーザーライセンス契約書

・ 保証書

合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による保証等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

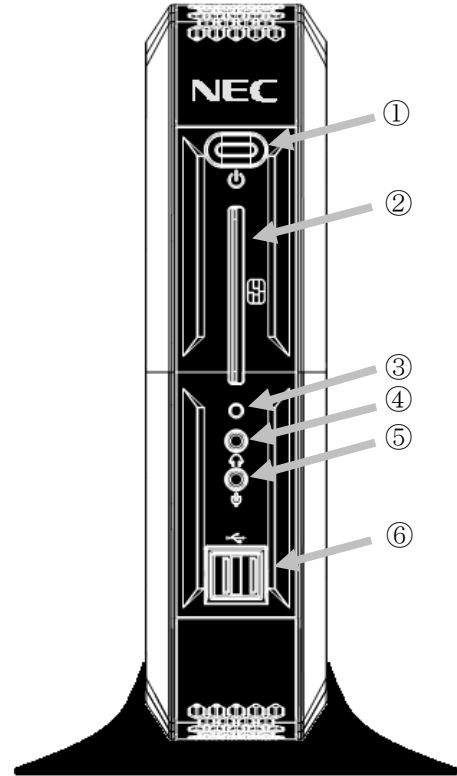
※本製品を正しく安全に取り扱うための説明や注意事項は、添付の CD-ROM の中にオンラインマニュアルとして PDF ファイルにて格納されています。また PDF ファイルの閲覧には、本体装置に添付されている [EXPRESS BUILDER] に閲覧用ソフトウェアが準備されていますので、インストールしてご使用ください。

はじめに表面の使用上の注意を必ずお読みください。  
安全に関する大切な注意事項が記載されています。

箱を開けてから TC-Station <ハイエンドモデル> を使えるようになるまでの手順を説明します。

このスタートアップガイドに従って作業してください。

## 各部の名前と働き－前面



	名称
①	電源ボタン / 電源ランプ
②	IC カードリーダー
③	IC カードリーダーアクセスランプ
④	ヘッドフォン出力端子
⑤	マイク入力端子
⑥	USBポート

## TC-Station <ハイエンドモデル>について

TC-Station <ハイエンドモデル> は、“ステートレス” なシンククライアントターミナルデバイスです。このターミナルは、本質的に構成情報のすべてを DHCP と FTP サーバー（ネットワークサービス）から取得し、Citrix ICA または Microsoft RDP によるセッションサービスを介してアプリケーション、ファイル、およびネットワークリソースへのアクセスを提供します。ほとんどの場合、端末側での個別設定は必要ありません。

## 電波障害自主規制

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で、使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

## 回線への接続について

本製品を公衆回線や専用線に接続する場合は、本製品に直接接続せず、技術基準に適合し認定されたモデム等の通信端末機器を介して使用してください。

## 電源の瞬時電圧低下対策について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置（UPS）等を使用されることをお勧めします。

## 海外でのご使用について

本製品は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、本製品を輸出した場

